



令和4年度天皇杯全日本レスリング選手権大会

令和4年12月22日(木)から25日(日)までの間、「令和4年度天皇杯全日本レスリング選手権大会」が東京都世田谷区の駒沢オリンピック公園総合体育館で実施された。自衛隊体育学校からは第2教育課レスリング班、高谷大地2等陸尉以下35名(フリースタイル16名、グレコローマンスタイル14名、女子フリースタイル5名※集合訓練生1名含む)が出場し、8階級において優勝した。

また、各スタイル1名にしか与えられない優秀賞を、フリースタイル部門で2020東京五輪金メダリストの乙黒拓斗2等陸曹(フリースタイル65kg)が受賞した。(※集合訓練生：特別体育課程学生候補者集合訓練)

Freestyle 65kg 乙黒2曹 圧巻！全試合無失点の完全勝利

1年4か月ぶりのマットに立った東京オリンピック金メダリストの乙黒2曹は、準々決勝、準決勝と10-0のテクニカルフォールで勝利し、力の差を見せた。「1試合目は少し動きが悪かったが、2試合目から本来の動きで、まずまずの出来でした。しばらく試合はしていなかったけど練習で力がついたかなと思います。決勝は強気で行きたいです。」と臨んだ決勝戦は、U23世界選手権第3位の安楽龍馬選手(nobitel)と対戦し、4-0で勝利。全試合を無失点というパーフェクトな内容で優勝した。ディフェンスもさることながら、相手の隙をついて一気に攻め込む闘いは健在で、将棋の如く先を読んでいるのか、その場の反射神経が神がかりなのか、圧巻の攻撃力だった。

試合後、乙黒2曹は「強い相手にも勝ち切れて良かったです。試合にむけての緊張感など、どんどん楽しくなっていました。今後の取り組み方、修正・改善することなどを整理して、6月(※)にもしっかり勝ち切りたいです。大事な大会を1つずつクリアし、その先にオリンピック2連覇があると思います。」と落ち着いた表情で語った。

2024パリ五輪出場へ始動した乙黒2曹



2024パリ五輪出場へ始動した乙黒2曹

Freestyle 74kg 高谷2尉 2連覇通算3度目の優勝

準々決勝・準決勝を危なげなく勝ち上がった高谷2尉は、昨年と同じ木下貴倫選手(クリナップ)との決勝戦となった。第1ピリオドに1点を先取したが、その直後に相手のタックルにより2点を奪われた。しかし、高谷2尉は相手にリードを許した状況においても冷静に対応し、相手の隙をつき2点を追加、3-2で第1ピリオドが終了した。第2ピリオドは、ポイントを取り返そうとする相手の攻撃を堅い守りで阻止し、試合残り1分にタックルを決め更に2点を追加し5-2で優勝を決めた。

試合後、高谷2尉は「昨年と同じ相手ということで、自分の成長が確認できると感じました。落ち着いて冷静に分析しながら戦うことができ、また試合をしてみて自分に力がついたことを実感しました。試合前のコンディションは、様々な方のサポートにより完璧に仕上げることができ、その方々のためにも勝つことでやってきたことが間違いでないことを証明するんだという気持ちでした。」とパリ五輪出場に向けてメンタル面の成長を見せた。

2連覇を達成した高谷2尉



2連覇を達成した高谷2尉

Freestyle 86kg 石黒2曹 2年ぶり2度目の優勝

入隊1年目の石黒隼士2等陸曹は、準々決勝・準決勝を堅実に勝ち決勝に進出した。相手は、今年度79kg級世界選手権代表で今大会階級を上げてきた高橋夢大選手(日本体育大学)との対戦となった。

試合は、石黒2曹が序盤から強いプレッシャーを掛け、高橋選手のパッシブ(消極的姿勢)で2点を先取、残り1分に相手のタックルを切り、返し技でさらに2点を追加した。その後2点を奪われるも最終4-2で2年ぶり2度目の優勝を果たした。

試合後、石黒2曹は「世界の86kg級で勝つことを目標にやってきたけど、今大会の内容はよくありませんでした。減量や試合という要素がその原因かと思いますが、やってきたことをパフォーマンスとして出すことができませんでした。現在は最高の練習環境、コーチ陣でレスリングに取り組むことができているので、もっと圧倒的に強くならなければならないと思います。」と語った。

決勝のマットに上がる石黒2曹



決勝のマットに上がる石黒2曹



Freestyle 125kg 山本 2 曹 圧勝で 3 連覇達成

今年度この階級世界選手権代表である山本泰輝 2 等陸曹は、危なげなく決勝に進出し、JOC 杯 U20 優勝で勢いにのる藤田龍星選手（日本大学）との対戦となった。開始 20 秒に片足タックルからバックをとり 2 点を獲得すると間髪入れず 3 回のローリングで更に 6 点を追加し、あっという間に 8-0 する。再開後にも片足タックルから 2 点を追加し 10-0 のテクニカルフォールで圧勝し、通算 4 度目の優勝を飾った。

試合後、山本 2 曹は「怪我がありましたが、今の自分にできることをしようとコーチやリハビリスタッフに助けをもらい出場することができました。出場する以上は負けたくないという気持ちでした。優勝できてホッとしています。また、万全な時よりも良い部分があったので、今後そういう点も意識して練習していきたいです。日本ではもちろん負けず、世界でも勝ってパリ五輪に繋がりたいです。」と淡々と語った。



圧倒的な力を見せた山本 2 曹

Freestyle 61kg 小川 2 曹 2 年ぶり 2 度目の優勝

本校から 3 名がエントリーした 61kg 級は、自衛隊体育学校入隊 1 年目の小川航大 2 等陸曹が決勝に勝ちあがった。決勝の相手は、今年度全日本選抜第 4 位の藤田颯選手（早稲田大学）。第 1 ピリオド残り 1 分を切ったところで、小川 2 曹は片足タックルからローリング 2 回で 6 点を奪う。更に 1 点を追加し 7-0 で大きくリードする。第 2 ピリオドは確実に守りそのまま試合は終了し 2 年ぶり 2 度目の優勝を決めた。

試合後の日本レスリング協会によるインタビューでは、「最低限の優勝という目標が達成できて良かったです。今後は、課題を練習で改善できるようにしていきたいです。どんな相手でも自分の技を貫けるよう頑張りたいです。まずは、61kg 級で世界チャンピオンになることが目標です。」と決意を語った。



世界チャンピオンを目標にする小川 2 曹

Greco-Roman 87kg 角 3 曹 同門対決を制し 6 度目の優勝

グレコローマン 87kg 級は、第 1 シードと第 2 シードを順調に勝ち上がった阪部創 2 等陸曹と角雅人 3 等陸曹の同門対決の決勝となった。試合は、阪部 2 曹が 1 点先取り、リードした状態で第 1 ピリオドを終えた。第 2 ピリオドには角 3 曹が 1 点を奪い同点となった。更にポイントを追加したい角 3 曹は、得意のグランドから得点を狙うが、何度も対戦し知り尽くしている阪部 2 曹にポイントできず同点のまま経過した。その後もお互い積極的に技を仕掛け、試合時間残り 10 秒に角 3 曹が阪部 2 曹のバランスを崩すことに成功し 4 点を奪った。そのまま試合時間となり、角 3 曹の 2 連覇（通算 6 度目）が決定した。

日本レスリング協会によるインタビューで角 3 曹は、「阪部選手とは、お互い研究しあい、また切磋琢磨してきました。得意のローリングは決まりませんでした。その反面自分のスタイルを貫いて勝てたのは良かったです。内容はぎりぎりでしたが、また課題が見つかったので今後練習していきます。パリ五輪に出場します。」と笑顔で語った。



パリ五輪出場を目標にする角 3 曹

Greco-Roman 77kg 櫻庭 2 曹 2 連覇達成

昨年チャンピオンの櫻庭功大 2 等陸曹は、準々決勝をテクニカルフォール、準決勝を 8-6 で勝ち上がった。迎える決勝の相手は、U23 世界選手権 3 位で勢いに乗る日下尚選手（日本体育大学）。開始早々、日下選手を場外に押し出し 1 点、更に 1 点を追加しグランドの態勢になると一気に 5 点を奪い、7-0 のリードで第 1 ピリオドを終了した。第 2 ピリオドには 1 点返されるが、最終的には 10-1 で試合終了し、2 連覇 2 度目の優勝を飾った。

試合後、櫻庭 2 曹は「絶対優勝してやると臨みました。グランドで相手が対策してきたら、それにどうやって対応するかを練習してきました。練習してきた技がかかったので良かったです。相手のパターンになっていた部分もあったので、改善していきたいと思います。世界選手権代表になれるよう頑張りたいです。」と語った。



2 連覇達成にむけ決勝マットに上がる櫻庭 2 曹

Greco-Roman 72kg 堀江 2 曹 確実に力を付け初優勝

最終日となる 4 日目には、初優勝を狙う堀江耐志 2 等陸曹が登場。堀江 2 曹は順調に決勝まで駒を進め、迎えた決勝は今年度国体 2 位の中田翔輝選手（日本体育大学）との対戦となった。第 1 ピリオドに 2 度の投げ技で 7 点を奪うと、第 2 ピリオド開始 30 秒後にはさらに 2 点を追加しテクニカルフォール勝ちで初優勝を決めた。

試合後、堀江 2 曹は「いろいろな人に支えてもらいました。みんなの分も頑張ろうと戦い、優勝できて良かったです。スタンドでポイントをとることができ、その後失点なく優勝することができて嬉しいです。今後、階級変更や目標について考えていきたい。」と喜びの表情で語った。



初優勝の堀江 2 曹

今大会 8 名が優勝、準優勝 4 名、3 位が 4 名と多くの入賞者を輩出したが、世界選手権チャンピオンから 4 点を獲った新井陸人 2 曹、決勝で東京五輪銀メダリストと善戦した河名真偉斗 2 曹、東京五輪金メダリストに勝利した奥野春菜 2 曹といった入隊 1~2 年の若い選手が体育学校での目覚ましい成長ぶりを見せた大会であった。

今後ますますの活躍が期待されるレスリング班であるが、今年 6 月の明治杯（全日本選抜）、9 月の世界選手権大会、そしてパリ五輪へとその活躍は続いていく。

競技結果

フリースタイル

- 優勝 61kg 2 等陸曹 小川 航大 (青森県)
- 優勝 65kg 2 等陸曹 乙黒 拓斗 (山梨県)
- 優勝 74kg 2 等陸尉 高谷 大地 (京都府)
- 優勝 86kg 2 等陸曹 石黒 隼士 (東京都)
- 優勝 125kg 2 等陸曹 山本 泰輝 (静岡県)
- 第 2 位 57kg 2 等陸曹 新井 陸人 (栃木県)
- 第 3 位 79kg 3 等陸曹 村山 貴裕 (青森県)

グレコローマンスタイル

- 優勝 72kg 2 等陸曹 堀江 耐志 (和歌山県)
- 優勝 77kg 2 等陸曹 櫻庭 功大 (秋田県)
- 優勝 87kg 3 等陸曹 角 雅人 (佐賀県)
- 第 2 位 60kg 2 等陸曹 河名真偉斗 (広島県)
- 第 2 位 87kg 2 等陸曹 阪部 創 (和歌山県)
- 第 3 位 87kg 3 等陸曹 川村 洋史 (静岡県)

女子フリースタイル

- 第 2 位 53kg 2 等陸曹 奥野 春菜 (三重県)
- 第 3 位 68kg 3 等陸曹 今井 海優 (京都府)
- 第 3 位 65kg 2 等陸士 榎本 美鈴 (青森県)

※集合訓練生：第 101 高射特科隊

